

市民タイムス

発行所/市民タイムス:本社/〒390-8539松本市大字島立800番地
TEL (0263) 受付47-7777 編集47-7774 広告48-2000 販売47-4755 ©市民タイムス2017年
FAX (0263) 受付48-2422 編集47-1654 広告47-8585 販売48-2422 支社/安曇野・道民 支局/長野・木曾

平成29年(2017年)2月21日 火曜日

ものづくり支援事例報告 松本の3企業 和田で

松本地域のものづくり企業の支援を目的に松本市や松本商工会議所、信州大学などで構成するまつもと工業支援センターは20日、拠点のある松本市和田の

松本ソフト開発センターで、企業活動支援事例報告会を開いた。企業者ら約50人が耳を傾け、企業の事例報告で、業の販路拡大や新製品の開発に向けた助言に取り組み支援センターの活動を紹介し、支援を受けた市内の3企業が事例を報告した。



まつもと工業支援センターの助言や支援を受けた取り組みなどについて報告する企業経営者たち

関心のある企業関係者ら約50人が耳を傾けた。企業の事例報告では、倉科鐵工所(神林)の倉科賢三社長、ニッポロシステム(同)の倉科哲寛社長、信栄食品(並柳4)の神倉藤男社長の3人がそれぞれ

ぞれ取り組みを語った。倉科賢三社長は同センターの支援で事業計画を作成し、国の補助金で溶接ロボットなどの最新設備を導入した事例を紹介した。倉科哲寛社長は意識改革で全社的に整理整頓に取り組んだ結果、工場内がより効率的に運営できるようになったと報告した。神倉社長は伝統野菜の松本一本ねぎを使ったギョーザ商品の開発や、アジア各国への販路拡大に向けた取り組みなどを挙げ「他社ができないことは何かと考えること、その国の食文化に触れることが大切」などと考えを語った。支援センターへの理解を広め、ものづくり企業が同センターを利用するきっかけづくりとして初めて開催した。(小岩井貴之)